

## 令和3年第9回真庭市教育委員会会議録

会議種類	定例会	
開催年月日	令和3年8月20日(金)	
開会及び閉会時刻	開会時刻	9:30
	閉会時刻	10:15
場所	真庭市本庁舎3階 教育委員室	
会議録署名者	教育長 三ツ 宗宏	
	署名委員 井口 利美	
会議録作成者	教育総務課 主査 松尾 美由貴	

### 1 出席委員

職 名	氏 名	備 考
教 育 長	三 ッ 宗 宏	
教育長職務代理者	井 口 利 美	
委 員	常 本 直 史	
委 員	徳 山 周 一	
委 員	高 谷 絵里香	

### 2 出席した者

職 名	氏 名	備 考
教 育 次 長	赤 田 憲 昭	
教育総務課長	浅 野 晃 彦	
学校教育課長	秋 元 紀 幸	
生涯学習課課長	佐 山 宣 夫	
図書館振興室長	谷 岡 理 江	
学校教育課主幹	小 林 圭 介	
教育総務課主査	松 尾 美由貴	

### 3 傍聴人

な し

#### 4 議事日程

日程	案 件	結 果
	開 会	三ツ教育長
第 1	教育長あいさつ	三ツ教育長
第 2	署名委員の指名について	井口委員
第 3	教育長諸報告	赤田教育次長
第 4	付議事件	
	議案第 40 号 令和 2 年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について	原案可決
	議案第 41 号 令和 4 年度使用教科用図書について	原案可決
	議案第 42 号 真庭市先生のためご応援事業補助金交付規程等の一部改正について	原案可決
第 5	その他	
第 6	閉 会	

## 5 議事の概要

(9時30分 開会)

### ○三ツ教育長

これから第9回教育委員会を開催いたします。以下議事日程に従い進めてまいります。日程第1教育長あいさつです。

先日は総合教育会議ありがとうございました。何が課題なのかわかりにくいところもありますが、対話を重ねていくことが一番大事だと思うので、これからも進めていけたらと思います。

夏休みもそろそろ終わりの時期ですが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大について非常に心配しております。長期休業中ですが児童生徒の感染も次々確認されています。2学期始まりますが、特効薬がありませんので、今までやってきた対策を丁寧にやっていくことと、子どもは家庭内の感染がほとんどなので、家庭との連携を一層強めていくことが必要なのだと思っています。また、長雨、異常気象で各地で災害が起こっています。何年か前に、未来は不透明で予測不能でその時代を生きていくための力を培わなければいけないと声高に言われていましたが、まさしく一足先にそれがやってきたということです。これは大人に問われているのだと思います。この時代をいかに考え、何をしていくのか、我々がしっかり考えなければならないということです。今までは経済的な富が価値観の中心でしたが、そのために自然に手を入れすぎてもいいのか、本当の豊かさは何なのかを考えなければいけなくなってきました。これも押しつけるわけにはいかないので、教育委員会では対話を重ねていくということをあらゆる場面で大切にしていきたいと思います。

ひとつ情報提供です。「育成のはなし」という資料をご覧ください。市内小学校通常学級の担任している教員の経験年数です。経験年数1年から5年の教員が担任の45%を占めます。経験年数で何かを判断するのは間違いだとは思いますが、教育職に限らず経験と指導技術の蓄積は大きな武器であり、大切なことです。教育の質向上を考えたとき、これをいかに育成していくかが最大の課題

だと思えます。こうなることは予想されたので、意図的に新採用の方々は配置してきました。ですが、最初の異動で4割は県南や県外に出ていってしまいます。だから指導の蓄積ができず、何で補うかと言えば、結局新採用の方で補うという循環が進んでいます。真庭市だけではどうこうできませんが、教員の人循環を作っていくということで、生涯学習課と勝山高校がやっている真庭学習塾や大学との連携で、真庭に教員志望者を作っていく取組を進めています。併せて今の先生方をいかに育てていくかを当面の重点として取り組んでいく必要があると考えています。

また、学校が担うこと、家庭が担うこと、地域が担うことをもう少し整理して、抱え込みすぎた学校の負担を減らしていけないと感じています。現在学校教育をめぐる大きな課題として共有をさせていただきました。

今日もたくさんのご審議いただきますがどうぞよろしくお願いいたします。

続いて日程第2、署名委員の指名ですが今日は井口委員さんをお願いします。

○井口委員

はい。

○三ツ教育長

続いて、日程第3、教育長諸報告を教育次長よりさせていただきます。

○赤田教育次長

(資料により説明)

○三ツ教育長

教育長諸報告をさせていただきましたが、委員の皆さんからご質問ご意見等ありませんでしょうか。

○常本委員

新型コロナ感染についてたくさん出てきましたが、味覚がないとか倦怠感が続く子どもがいたらかわいそうだと思ったので、副作用、後遺症で苦しんでいる児童や家族の方がいるという情報は教育委員会に入っていますか。

○秋元学校教育課長

今のところ報告は入っておりません。検査の報告だけです。

○三ツ教育長

教職員のワクチン接種に関しては正式な連絡ではありませんが、若干熱が出たという話は聞きましたが、感染に関しては聞いていません。そのほかありませんでしょうか。

続いて日程第4付議事件です。議案第40号 令和2年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書についてお願いします。

○浅野教育総務課課長

(資料により説明)

○松尾主査

(資料により補足説明)

○三ツ教育長

以前協議をいただいたものをふまえて赤字で修正しているということです。ただいまの説明に対し、ご質問ご意見ありますでしょうか。

○徳山委員

22ページのところもコミュニティスクールについてうまく入れていただいたと思います。今後、学校運営協議会と協働本部の役割を明確にしながら、取り

組んでいくことが課題になってくると思います。72ページの「どんな思考を身につけるのかを見据えて授業力向上」という文言が入っていていいと思いました。この報告書は開示はされますよね。校長先生にも読んでいただき、併せて「育成のはなし」も読んでいただいたらいいと思います。

#### ○三ツ教育長

ありがとうございます。そのほかありますか。一般的に、地域学校協働本部として地域で子どもを育てたり学校を支援したりする実務を担う部分と、学校運営そのものを地域に開いて教育の質を高めていく議論をしていく学校運営協議会とは両輪と言われます。が、一つ課題を言えば、これを本当に機能させていくためには、学校教育のとりわけ探究的な学習を、真庭の地域資源を活かして本当の豊かさを考えたり、昔から引き継がれている持続について考えたり、課題を見つけて地域の人と協働したりという学びに結びつけていかないといけないということです。教育の質を高めるということを加えていかないと「子どもが真ん中」になっていかないと思うので、これを次年度以降具体的に考えていきたいと思います。併せて学校の先生が業務に専念できるように、背負い込みすぎた課題を棚卸ししていくという議論も思い切って出していただくのが学校運営協議会の場だと思っていますので、意図して進めていきたいと思います。

委員の皆さんから感想でもいいので何かありますか。

#### ○常本委員

以前から言っていますが、こういう取組をして市民の意識や考え方が変わったという目に見える形で評価ができたら一番いいなと思っています。理想ですが、特に学校現場ではそういう意識を持ってほしいです。今、課題解決型の学習は日本全国であると思いますが、地域に出るとい形だけになって、教員がやった気になってしまい、保護者が子どもが変わっていったと感じられるように心を注いでいかないと、やっていることが無駄になると思います。先生方は大変ですが、志をもって仕事ができる環境づくりも必要かなと感じました。

○三ツ教育長

アウトカムをどう位置づけていくのか、教育の性質上見えにくいところはありませんが、成果が見えると元気も出るの見える化をどう進めていくのか知恵を寄せ合っていきたいと思います。そのほかありますか。

それではお諮りいたします。議案第 40 号 令和 2 年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について、ご異議ございませんか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

では、異議なしということで原案可決でお願いします。

続いて、議案第 41 号 令和 4 年度使用教科用図書についてお願いします。

○秋元学校教育課長

(資料により説明)

○小林主幹

(資料により説明)

○三ツ教育長

ただいま説明がありました。小中学校使用の教科用図書は採択案としては変わらないということで津山という欄をご確認ください。特別支援学級用の教科用図書については実態に応じて選定していくということで選定理由も記載しています。ご質問等ありますでしょうか。

それではお諮りいたします。議案第 41 号 令和 4 年度使用教科用図書について、ご異議ございませんか。



○全員

はい。

○三ツ教育長

では、異議なしということで原案可決でお願いします。

○小林主幹

その他について1点だけ報告させていただきます。本件に係る情報公開については9月1日以降、請求等ありましたら事務局で適正に対応していきます。

○三ツ教育長

続いて、議案第42号 真庭市先生のためご応援事業補助金交付規程等の一部改正についてお願いします。

○秋元学校教育課長

(資料により説明)

○三ツ教育長

ただいま説明がありました。申請の簡素化を進め利便性を高めるということでしたが、簡単にそれぞれの事業説明をしていただけますか。

○秋元学校教育課長

1つ目の先生のためご応援事業は、真庭市の学校教員を目指す者がインターンシップを行う場合、交通費や宿泊費などを補助するものです。2つ目の英語検定受験料補助は、市内の中学生が英語検定を受ける際に受験料の半額を補助するというものです。3つ目のヘルメットの購入補助は中学校進学にあたり、自転車通学や部活動でヘルメットを使用するので、そのヘルメットの購入の半額補助をするものです。

○徳山委員

先生のたまご応援事業はよい取組だと思ったのですが、これと英語検定受験料補助の実績を教えてください。

○秋元学校教育課長

ヘルメット補助は44万9千円の予算額に対し、37万円の利用があります。先生のたまごについては、利用実績が少なく数件だったと思います。

○三ツ教育長

こちらに来られる方が真庭の方が多いので、自宅に滞在されることが多いです。別の宿を取って申請される方は何人かはおられますが、自宅の場合は移動費の申請ぐらいになるので、実際はそれほど申請は多くありません。ほかにありますでしょうか。

それではお諮りいたします。議案第42号 真庭市先生のたまご応援事業補助金交付規程等の一部改正について、ご異議ございませんか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

では、異議なしということで原案可決でお願いします。

付議事件は以上ですが、委員の皆さんから何かありますでしょうか。事務局から何かありますか。

○赤田教育次長

10月の委員会日程についてご相談させていただきたいと思います。去年は10月22日でしたが、いかがいたしましょうか。

○徳山委員

その日は人権の会合があります。

○赤田教育次長

前の日は落合祭り、25～26日は久世祭りがあります。27日はいかかがでしょうか。

○三ツ教育長

ご都合よろしいでしょうか。10月27日水曜日9時30分でご予定ください。  
では以上で教育委員会を終了いたします。

(10時15分 閉会)